

プログラム名 (40字以内)	地域住民の健康を守るために医療機関が行う地域活動体験プログラム		
団体名/所属	医学系研究科健康科学・看護学専攻 高齢者在宅長期ケア看護学分野		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動・フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	5人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2024/8月のうち3日間	主な活動予定場所	広島県福山市:脳神経センター大田記念病院および地域密着型特別養護老人ホーム五本松の家
プログラム実施の目的	広島県福山市では脳神経センター大田記念病院および関連施設等を中心に、医療・介護制度の枠にとらわれず地域住民全体の健康を守るための地域活動が展開されている。本プログラムでは、この地域活動の体験を通して、医療機関経営者や専門職の社会的役割を学ぶ。		
具体的な内容(800字程度)	<p>病院・施設内に専門職が留まり患者や住民を待つだけでなく、自ら地域に足を運ぶ「街に出ていく病院・施設」の、先駆的な取り組みに実際に参加する。 【予定している体験活動(例)】</p> <p>① 地元書店グループとのコラボによる出張健康講座への参加(オンライン含む) → 福山市の老舗書店グループとのコラボにより、出張健康講座を実施する。「紙の本離れ」が進むなか、書店や併設するカフェにきた人がふらっと立ち寄れる場所で「地域住民が健康について知ることができる」、「書店やカフェに人流を作り街が活性化される」ことを目的とした活動となっている。学生さんに健康講座の講師を務めてもらうなど企画にも携わることが可能である。</p> <p>② 地域密着型特別養護老人ホーム五本松の家で開催の「おしゃべり体操教室」への参加 → 施設近隣地域の元気な高齢者を対象とし週一度の定期的な活動を実施。住民の外出機会創出のほか、交流機会の提供、フレイル予防にもつながっている。実際の教室に参加することで、地域住民とのコミュニケーションを図り、運営に関わる専門職がこのような企画を仕掛けている意図や社会的役割を学ぶことができる。</p> <p>③ 「キッチンカー×暮らしの保健室」イベントへの参加 → 福山市内を走る電車の高架下(駅近く)で定期的開催しているイベントである。キッチンカーは出来立ての食事を提供する関係上、注文から出来上がりまでに待ち時間が発生する。また人気のキッチンカーともなると、行列ができることも少なくない。このような待ち時間を利用し、五本松の家所属の保健師・コミュニティナーズが、地元地域包括支援センターとともに住民の健康や暮らしにまつわる相談事に応じている。わざわざ相談機関に向くのはハードルが高いが、ちょっと話を聞いてほしいなど、学生から子育てママさん、高齢者に至るまで幅広い層を対象としており、地域住民の多様な相談ごとを知ることができるほか、対応する専門職の役割を知ることができる。</p>		
【総額】参加するための費用	66,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	16,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	34,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	活動準備費用10,000円、食費6,000円(1日3,000円)程度		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	上記活動以外にも近隣地区での地域活動にも参加できる可能性あり 現地活動日程は7月中旬に決定予定。活動日程は参加学生、活動先の都合によっては9月に変更する可能性あり。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	脳神経センター大田記念病院 ・ https://www.shouwa.or.jp 地域密着型特別養護老人ホーム 五本松の家・ https://5pin.es.jp/facility/staff (参考書籍)「暮らしの保健室」ガイドブック、日本看護協会出版会(2021/3/3) pp142-145に活動紹介あり		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体に応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		